

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	越後支部	(2) 記載者氏名:	山崎 幸和	会員番号:	5403	事務局整理記入欄	越後 - 11
分水嶺区分	E412蓬峠～E410清水峠	(3) 山行日:	2004年	8月	22日	(4) 天候	曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

山崎 幸和	5403						
横山 征平	12270						
山田 智子	8623						
横田 謙蔵	非会員						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	上越国境(蓬峠～七ツ小屋山～清水峠)												
アプローチ:	谷川岳、蓬峠から踏査してきた分水嶺とほぼ平行する旧国道を清水峠からマチガ沢まで戻る。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	蓬 峠												
分水嶺到達点E412	蓬 峠	茂倉岳	138	55	18	36	52	44	1,529		5:35	A-1	
E411	七ツ小屋山	茂倉岳	138	55	54	36	53	31	1,675	6:20	6:35	A-1	
									1,440				
分水嶺離別点E410	清水峠	茂倉岳	138	56	51	36	53	40	1,440	7:17	7:45	A-1	
歩行終了点	マチガ沢出合	茂倉岳							838	14:10			
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間10分	
分水嶺歩行時間												1時間30分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E411	七ツ小屋山	3	真東	やや良	周辺の土は浸食され標石が約30cm程露出している。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

E410 清水峠: JR東日本白崩避難小屋(無人/15人収容)。志水神社と鳥居 送電線監視所(使用不可)。この監視所から180m程西方向の標高約1500m、及び東方向400mの標高約1504mの 分水嶺地点を各々送電線が横切っている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

・水 / 清水峠までの分水嶺登山道では確保できないが、清水峠から土合川5分程下った沢でえられる。 ・植生 / 蓬峠から清水峠への稜線もチシマ笹の繁殖著しく、登山道は笹ヤブに被われつつある。

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 蓬峠と武能岳を望む

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



蓬峠と武能岳を望む